

季刊誌
4号
TSUBASA

とり村回覧板

みんな
で
回覧
してね!



3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震におきまして、被害にあわれた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

犠牲になられた方々のご遺族に対し、深くお悔やみを申し上げます。

一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

私どもTSUBASAも、微力でも何かできることを考え行動に移してまいります。

(活動内容のご報告は別紙をご覧ください)

～ TSUBASA ～

「The Society for Unity with Birds - Adoption and Sanctuary in Asia」
(鳥と調和のとれる社会 - アジアの里親とサンクチュアリ)

TSUBASAはインコ・オウムと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対して、よりよいバードライフのご提案と適正な飼育の為の啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥達を引き取り(里子制度)、新しい飼い主さんを探す(里親制度)活動を行っております。

2010年3月より、社団法人化いたしました。広く、皆様に活動を知っていただく事を目的とし、本紙を発行しております。

人・鳥・社会の幸せのために

TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を
理念にしスキュー活動をする団体です

一般社団法人 TSUBASA

第1期（平成22年3月15日～平成22年12月31日）定時社員総会ご報告

2011年度 TSUBASA 会員更新・新規入会のご案内

去る、3月20日に一般社団法人 TSUBASA 第1期（平成22年3月15日～平成22年12月31日）定時社員総会を開催いたしました。余震の続く不安定な中、一般社団法人 TSUBASA 第1期定時社員総会にご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。代理人選任届のご提出につきましても、ご協力いただきまして重ねてお礼申し上げます。また、地震の影響でご参加を見送らざるを得なかった方、そして UStream 中継を楽しみにしていられっしやった方におかれましては、誠に残念ではございましたが、「とり村回覧板」にて平成22年度のご報告とさせていただきますと存じます。

内容をご確認いただきまして、2011年度 TSUBASA 会員の更新、並びに新規入会をご検討いただけましたら、幸いです。

【一般社団法人 TSUBASA 第1期定時社員総会】

1. 日 時 平成23年3月20日 13:30～14:30 2. 場 所 とり村「集会所」（埼玉県新座市中野2-2-22）
3. 総会概要 4. 2011年度（平成23年度）の事業計画と方針

平成22年度事業報告：

2010年度会員の皆様に、先にご案内させていただきました URL に掲載しております「平成22年度（第1事業年度）事業報告平成22年3月15日から平成22年12月31日」をご参照ください。

平成22年度財務諸表

松本代表理事の説明要旨：

社団法人となった初年度は残念ながら赤字の結果となった。この要因は、ご支援いただいた寄付金は、社団法人 TSUBASA では非収益部門となり課税対象とはならないため、税金対策などと税務署からの誤解を招くことがないように、平成22年度の寄付金全額（平成22年度寄付金総額：1,473,651円）を、株式会社ロムテックに振り替える判断に踏み切ることとなった。これは、株式会社ロムテックの代表が松本であり、かつ TSUBASA の代表（親会社：株式会社ロムテック）でもあることから、前述のような懸念を強いられている。

例えば、遺棄されたセキセイインコのための募金は、社団法人 TSUBASA になるのか、それとも株式会社ロムテックになるのか、と考えた場合、答えは株式会社ロムテックが貰い受けることになる。それは遺棄されたセキセイインコの世話をしているのが、ロムテックの社員だからである。上述のような懸念を抱くのは株式会社ロムテック、並びに社団法人 TSUBASA、両組織の代表が松本であるためである。税務署の誤解を招くことがないように、かつご支援いただく方々にとっても組織の活動が分かりやすいように、平成23年4月1日付けで親会社である株式会社ロムテックから TSUBASA 事業は全て独立することが決まった。また、社団法人 TSUBASA が存続していくためにも平成23年度は赤字に転じることがないように、コンパニオンバード用品専門店である CAP! も独立が決まり、社団法人 TSUBASA の事業部門となることを報告した。

(1) 親会社、株式会社ロムテックからの独立

- ・株式会社ロムテックの事業：
TSUBASA、CAP! [スタッフ14名（内パート5名）]
- ・社団法人 TSUBASA [職員1名]

平成22年3月15日から平成22年12月31日の期間、上記のように TSUBASA が2つ存在していたが、株式会社ロムテックの事業から TSUBASA と CAP! は独立し、平成23年4月1日付けで社団法人 TSUBASA の事業となる。

よって、社団法人 TSUBASA の職員は15名（内5名パート）体制になる。

(2) 愛鳥塾をほぼ毎週1回開催

※他イベントが開催される場合は休講。

(3) TSUBASA セミナーを4回以上開催

(4) 第10回 TSUBASA シンポジウムを大阪で開催

CAP! フェスタも同時開催。

・開催地：大阪 ・開催日：2011年6月12日

(5) ABiCo ～Asia Birds Convention～ 開催

・開催地：千葉県我孫子市

・開催日：2011年10月23日

海外から、ジュリー・ムラード氏（ガブリエル財団主宰）、ショーナ・ロバーツ氏（ガブリエル財団役員）を招き、ジャパニバードフェスティバル2011（主催：千葉県我孫子市）最終日。

(6) バードライフアドバイザーを副読本として出版することを目標に掲げる。

(7) TSUBASA 会員制度について

平成22年度は赤字に転じたが、平成23年度の会費は見直すことなく、これまでの会費額でどこまで運営していけるのかを試す期間とする。

【更新】正会員：3,600円/年

家族会員：1,200円/年

【新規】入会金：1,400円

お申込み日は毎月5日締め

会費＝300円/月×該当年度残り月数

平成23年度の財務評価を鑑みて、次年度（平成24年度）の会費の見直しを検討していく。

平成23年(2011年)度は皆さまのお役に立てるように、ひいては愛鳥さんたちの末永い暮らしをご提案できるように鋭意スタッフ一同努めてまいりますので、今後ともご協力を賜りましたら幸いです。

2011年度 TSUBASA 会員更新・新規入会
お申込み受付中！

TSUBASA ホームページから：<http://www.tsubasa.ne.jp/Mac/TSUBASA/TOP.html>
お問い合わせ：TEL 048-480-6077 E-mail tsubasa0615@gmail.com

社団法人TSUBASA 2011年4月1日からの組織図

TSUBASA 事業の一部は、親会社の(株)ロムテックに属していましたが、2011年4月1日から、親会社より完全に独立し、社団法人 TSUBASA として活動してまいります。

これに伴い、CAP! も社団法人 TSUBASA となります。

2010年3月15日～2011年3月31日

《株式会社ロムテック》
TSUBASA、CAP! [スタッフ14名(内パート5名)]

《社団法人 TSUBASA》
[職員1名]

2011年4月1日から

《株式会社ロムテック》
TSUBASA、CAP! は、独立し、社団法人へ。

《社団法人 TSUBASA》
TSUBASA、CAP! [職員15名(内パート5名)]

社団法人化の初年度である2010年3月15日から2011年3月31日までは、(2)の事業は株式会社ロムテックの TSUBASA 事業において活動してまいりましたが、2011年4月1日付けで、TSUBASA 事業は親会社(株)ロムテックより完全に独立し、(2)の事業は社団法人 TSUBASA において取り組んでまいります。

現在の定款 第4条 この法人は、下記の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 鳥類適正飼育に関する教育啓蒙事業
- (2) 鳥類の保護事業
- (3) 鳥類に関する調査研究事業
- (4) 前各号に附帯する一切の事業

昨年(2010年)は TSUBASA の事業の一部は一足先に社団法人として親会社から独立しましたが、2011年は、TSUBASA はCAP! と共に完全に独り立ちをいたします。今後とも、TSUBASA をご支援いただけましたら、幸いです。

4月1日より、社団法人 TSUBASA に新たな仲間が加わりました。「とり村」から鳥業界をもっともっと盛り上げてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします!

社団法人TSUBASAに 新たに加わった仲間のご紹介



はじめましてこんにちは。4月から新しく TSUBASA に新卒で入社いたしました、津田佳枝と申します。新卒と言いましても、震災があったために大学での卒業式ができず、未だに学生が終ったような感覚がありません。先日の入社式で、ようやく、社会人としてこの TSUBASA でデビューするのだと実感しました。といっても、大学では鳥類のことはほとんど学んで

おりません。おそらく、皆様の方が私よりもはるかに鳥の事を知っていらっしゃると思うので、先輩方の元、日々たくさんを学んでおりますが、皆様からも教えていただこうと思っております。名前はよしえですが、今まで「うめちゃん」や「うめ子」と呼ばれていましたので、皆さんもとり村におこしになった際は、津田さんではなく気軽に名前かニックネームで呼んでください。これからよろしくお願ひいたします。



はじめまして。
4月1日から社団法人 TSUBASA で経理職と

して働かせていただいております、荒井友美です。実は…私は大学が法学部卒なので、経理は全くの初心者なので、上司や先輩方に迷惑ばかりかけてしまうかと思いますが、少しずつ仕事を覚えていきたいです。そして、ゆくゆくはTSUBASAを利用される御客様がより利用しやすい環境をつくるサポートをしたり、上司や先輩方がスムーズに活動できるよう、バックアップしていきたいと思っております。まだまだまだ、ひよっこではありますが、宜しくお願ひ致します。

はじめまして、この春より社団法人TSUBASAの一員となりました御堂と申します。只今絶賛お待たせをしております新規部門「とりッず」を担当しております。拙い経験しかありませんが、これから鳥さんたちや鳥さんが好きな皆様と楽しいことも真面目なこともやっていければ良いな、と思っております。鳥が好き! な気持ちだけで関西からさいたままでやってきてしまいました無鉄砲未熟者ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。



とり村お財布事情

とり村では、どれだけ鳥達の生活費に出費がでるかわかりますか？

一般のご家庭ならだいたいこのくらい…という予測がつくかもしれませんが、150羽を超えるこの村の鳥達にかかる生活費は分かりにくいと思います。

そんな、皆様の支えで成り立つとり村の生活費をちょっぴりお見せしちゃいます。

毎年、鳥達の体調や気候で費用は大きく変動いたしますのであくまで参考程度ですがご覧ください。いつも、皆様のご支援をいただき TSAUBASA が運営できている事、心より御礼申し上げます！！

2010年1月～12月 千葉CAKでの費用

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
病院費	209,606	126,785	162,766	153,094	107,334	66,020	90,850	116,732	182,468	183,717	267,154	271,112	1,937,638
電気代	108,400	96,727	80,247	80,948	51,218	39,709	34,587	27,050	31,527	43,905	81,558	88,693	764,569
ガス代	2,827	2,926	3,360	2,677	2,257	2,047	1,890	1,890	1,890	1,942	1,890	2,152	27,748
水道代	-	41,915	-	32,727	-	38,240	-	52,027	-	47,427	59,010	53,865	352,211
食費	131,645	92,590	152,915	147,665	175,988	105,904	142,473	166,481	99,636	67,404	83,356	147,997	1,514,054

※上記以外にも、出費はあるのですが主な物をご紹介しました。

総合計費用 ¥4,569,220

まだまだ、赤字なんですって…。スタッフはもっともっと頑張らないといけないですね！

お財布の特長①

鳥達の健康を守る為に、欠かせない通院費。この費用には、交通費とその間の人件費は含んでいません。欠かすことのない費用ですが、削減するためにもスタッフは鳥達に健康でいてもらう努力をしています。



お財布の特長②

5～10月にガクッと費用が減るのは、保温を必要としないからです。なんと、以前は(千葉CAK)6台以上のオイルヒーターが冬の間はフル稼働でした…。今年から(とり村)は、床暖房になり鳥達は快適。さあ、費用はどうなるでしょう？



お財布の特長③

絶対、外すことのできないご飯代ですが、CAPIの商品の在庫を上手に購入したり、お客さまからのペレットやお野菜の寄付が非常に役に立っています。



それいけ！ TSUBASA探検隊

開村！とい村編



写真提供おび〜@とつもと(・o・)様

2011年2月14日、埼玉の地にTSUBASAの新しい拠点、「とり村」が開村しました。
今回はとり村の2階と3階を大公開します！

2F

オカメインコ達が
放し飼いになって
います。
水浴び用の滝も
設置しています。



寝室にはクーラーと
床暖房が付いて
います！

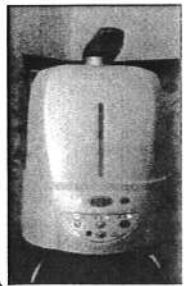
大型の
寝室

小型の
遊び場

3Fへ

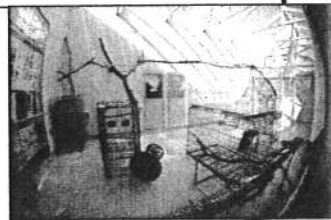
大型の
遊び場

大型の
寝室



階段を通ると、除菌の
ミストを浴びます。

大型の鳥達の遊び場。
天井は吹き抜けで高く
なっており、自由に飛び
回る事ができます。



3F

小型の寝室

出窓から
2階の遊び場へ

トキちゃん・トキボン
クルマサカ、
カケス達の寝室



村鳥から一言

ついにとり村が完成しまし
た！世界一小さな村です
が、それに負けない大きな
夢が詰まっています。
ぜひ遊びにいらしてくだ
さいね！

オルト@トリホウインコ

出窓から
2階の遊び場へ



愛鳥家さん こんにちは

このコーナーではさまざまなジャンルの方から、お話をお聞きます。皆さん、それぞれどのような愛鳥ライフをお過ごしでしょうか？もしかしたら、普段は聞けないあんな事やこんな事、誰もが共感するあるある愛鳥話など、いろんなお話が飛び出すかも！？お仕事や住んでいる所は違っても、皆さんおんなじ愛鳥家。愛鳥家の愛鳥家による愛鳥家のためのこんにちは～！！

今回は

「とり村」の生みの親
大工さんの西内政美様
(株)西内工務店



2010年の9月より、TSUBASAの新たな保護施設「とり村」を着工していただき、スタッフたちのわがままなリクエストをイヤな顔ひとつせず受け入れていただき、できる限り理想を実現させていただきました、職人さんからの「こんにちは～」です。



『こんにちは～♪』・・・と、思わずオオム達の中に出ると言葉が出てしまいます。

縁あって今回「つばさ」の工事に携わった大工です。出来るだけ鳥達が暖かい気候の中、引っ越しが出来る様、急ピッチで建築が進められて来ました。用途が一般住宅とは違いいろいろ問題もありましたが、引っ越し後もこまごまとした作業が続きました。

シロちゃん@アオメキバタンとおすまし→



翌朝、建物の鍵を開けるといつもとは違う暖かさを感じ建物に命が吹き込まれたようでした。

中で作業をしていると、鳥たちの色々な言葉が飛び交い、こちらも思わず『こんにちは～』と声が出てしまいます。

今回、つばさの新築工事に携わりいろいろな形で勉強させて頂きました。私たちも鳥の様に心につばさをつけて、大きな視野で物事を見つめられる様歩んでいければと思います。

←シロちゃん@アオメキバタンも大好き！

西内さんのお人柄がとてにじみ出た文章ですね。そんな西内さんは、スタッフのみならず、鳥たちからも大人気。

(株)西内工務店様は、CAP！三芳店の際も、伝説の中庭を手掛けてくださいました。そして、今回の「とり村」も、スタッフの期待以上のものを一緒に考えて、形にしてください、鳥たちも大満足の様子です。

職人さんたちの想いもつまった「とり村」にぜひ足を運んでいただければ嬉しいです。

2011年
TSUBASA

「とり村」行事カレンダー

※内容に変更が生じる場合もございます。

4月24日(日) (申込み受付中)

第3回 TSUBASA チャリティーセミナー
会場:とり村(埼玉県新座市)
講師:滝沢 直樹 先生(滝沢犬猫鳥の病院院長)
「ホントは怖い ペットバードの医学
～ラブラブ・発情・産卵の恐怖～」
小沢 知美 様(横浜小鳥の病院看護師)
「鳥の看護について・検疫の大切さ」

4月29日(金・祝) (申込み受付中)

みんなのためのアロマセラピー(基礎編)
会場:とり村(埼玉県新座市)
講師:志村 和美 様(バードアロマセラピスト)
概要:アロマセラピーの基礎知識・基本のルール
・メカニズムなどのお話と「まぜるだけ
シリーズ～Vol.1 基本のアロマスプレー」
製作。

5月8日(日) (申込み受付中)

第4回 TSUBASA チャリティーセミナー
会場:とり村(埼玉県新座市)
講師:皆川 康雄先生
(野生動物ボランティアセンター所長
NPO 法人野生動物救護獣医師協会副会長)
「愛鳥家として知っておきたい野鳥の救護」



6月12日(日) (申込み開始:4月中旬)

第10回 TSUBASA チャリティーシンポジウム in 大阪 & CAP! フェスタ
講演:松井 淳 様 (chiemomo 代表。シックルビルサファリ社のガイドとして主に
オセアニア地区のバードウォッチングツアーを担当)
上田 亜希子先生(フォーゲル動物病院)
磯崎 哲也 先生
会場:アゼリア大正ホール(大阪市大正区小林東 3-3-25)
☆鳥さん関連グッズの展示即売会も同時開催! 参加サークル数:23(出展ブース数:31)



☆鳥さん関連グッズの展示販売も
同時開催!
「ジャパンバードフェスティ
バル 2011」(10/22・23)最終日に
開催!

愛鳥塾(毎週日曜日開催※他イベント開催の場合は愛鳥塾はお休み)

参加費の一部を復興のための支援金に

東北地方太平洋沖地震を受け、被災した動物たちのために役立てられるようにと、愛鳥家の皆さまにご参加いただくセミナーやシンポジウム、愛鳥塾の受講料の一部を支援金にさせていただきます。

【チャリティーセミナー・シンポジウム・愛鳥塾】

概要: 2011年に、TSUBASA が企画・運営するイベントの参加費の10%を支援金に充てる。

支援金の使途:

- ・TSUBASA で被災地から保護した鳥のお世話にかかる費用
- ・TSUBASA スタッフが被災地に赴き、レスキューにかかる費用
- ・鳥の保護要請がない場合、犬猫や他の被災した動物たちのために活動している団体への寄付
(この場合、寄付させていただく団体を慎重に検討してまいります)

※上記いずれの場合でも、支援金の使途は明確にして、TSUBASA のホームページにて随時ご報告をさせていただきます。



告知
詳細
お申し込み

TSUBASA ホームページ:<http://www.tsubasa.ne.jp/Mac/TSUBASA/TOP.html>
TSUBASA NEWS: <http://tsubasa.wablog.com/>
「人・鳥・社会の幸せのために」TSUBASA 代表ブログ: <http://soushi914.exblog.jp/>
「彩玉とり村日記」TSUBASA スタッフブログ: <http://ameblo.jp/tsubasa0615/>
TEL 048-480-6077 (13時~17時)

支援物資について

TSUBASAの鳥たちのために、いつもたくさんのご支援をいただきましてありがとうございます。

2011年2月に、千葉CAKから埼玉のとり村への引っ越しも無事に終わり、皆様よりご支援の受付を再開させていただきました。

特に新聞紙や、おもちゃとしての紙の芯や、タオルはたくさんのご支援をいただきました。本当にありがとうございました！

CAKより敷地面積が狭くなってしまった現在では、皆様よりいただきましたご支援を、より有意義に活用していくため、新聞紙、紙の芯、タオルにつきましては、一旦お受け入れをストップさせていただきたいと思っております。

支援物資の呼びかけについては、TSUBASAホームページに掲載させていただきます。ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願いたします。

TSUBASA会員制度

2011年度TSUBASA会員更新・新規入会 受け付け開始しました

TSUBASAの主旨をご理解いただき、その活動に賛同して下さる会員を募集しています。

入会時には会員証が発行され、鳥の世話情報や海外の飼鳥関連情報が詰まった教育パックやバッジが配布されます。会員年度は、1月から12月まで。

- 【特典】
- ・メルマガ「TSUBASA NEWS」の配信
 - ・シンポジウムやセミナー等のイベントの優先予約
 - ・「とり村回覧板」を年4回お届け

詳しくは、TSUBASA ホームページ <http://www.tsubasa.ne.jp/Mac/TSUBASA/TOP.html>
または E-mail: tsubasa0615@gmail.com までお問い合わせください。

とり村に新しく、鳥を中心とした雑貨を扱うお店

『とりっず』オープン！！

作家さんへ 作家さんの募集をします！

とりっずは鳥の雑貨を扱っている作家さんとお客様のコミュニティ空間です。10年以上前にCAP！三芳店にあった『きゃっぷ荘』を時代に合わせ、よりハイカラなお店を目指しています。作家さんのメジャーデビューを応援し、鳥業界の発展を図り鳥ファンを増やしていくことにより、鳥とのより豊かな生活をお手伝いできたらと思っています。とり村と一緒に成長していきませんか！とり村のとりっずにお店をだしたい方、まずはお問い合わせください。

連絡先 E-mail info@e-tsubasa.com

お客様へ 身も心も鳥まみれに！

他店では見つからない作家さんの心のこもった作品や一点物の手作り品、探していた自分のおうちの鳥さんグッズが見つかるかも？

見ているだけでも楽しくなるお店を作っていきますので、是非遊びに来てくださいね！



とり村

開村時間

- 1 階 13:00~17:00
- 2 階 13:00~16:00(最終入場15:30)

定休日

毎週木曜日

(木曜日が祝日の場合は通常営業)

所在地

埼玉県新座市中野2-2-22

最寄駅

東武東上線「柳瀬川」から徒歩25分

送迎車を運行しております。

送迎をご希望の場合は、必ず

事前にご連絡ください。

柳瀬川駅発 13:00 14:00

15:00

TEL 048-480-6077(13:00~17:00)

FAX 048-480-6078

E-mail tsubasa0615@gmail.com



写真de4コマ漫画

For you



右、から・・・



何かが、や〜ってきた〜



僕は、それを・・・



左へ、受け流す〜

すと〜り〜てら〜庭野

次号

「とり村回覧板5号」は、
2011年7月に発行予定です。
お楽しみに！

お願い

「とり村回覧板」を置いてくださる、施設並びに病院を募集しています。興味をお持ちの方はTSUBASAまでお問い合わせください。

【発行元】

社団法人 TSUBASA

柴田 祐未子(編集責任)

庭野 真吾

涌井 智美

望月 健人

イラスト:こまつか苗

〒352-0005

埼玉県新座市中野 2-2-22

E-mail: tsubasa0615@gmail.com

【発行月】2011.4

東北地方 太平洋沖 地震に かかる レスキューの ご報告

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震におきまして、被害にあわれた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。
犠牲になられた方々にご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。
一人一人の力と想いをカタチにして、現在、TSUBASA で取り組んでいる状況をお伝えいたします。

福島県の自主非難区域に居る飼主さんの関係者から、約30羽のハトのレスキューの依頼がありました。
飼主さんはすでに自主避難されています。つまりハトを放置してから、かなり日にちが経っていました。

依頼の内容は、ハトの安否確認と保護です。避難する際に、知り合いの方にお世話を依頼したそうです。しかし、その知り合いの方との連絡がとれないので、ハトがどうなったかわからないということでした。

その知り合いの方がそのまま現地に居て、継続してハトをお世話をしているかどうかわかりません。もしハトが生存していれば、TSUBASA で引き取ってほしいとのことでした。

「何故、TSUBASA がハトのレスキュー??」

と思われるかもしれませんが、これは「人、鳥、社会の幸せのため」という TSUBASA の理念に基づいた判断です。

ここでいう「鳥」は「コンパニオンバード」です。家畜や野鳥は TSUBASA の守備範囲ではありません。(場合によってはレスキューします)また人によって「コンパニオンバード」の定義もそれぞれですので、私たちがお世話できない鳥種もたくさんいます。そんな中でハトは私たちにとっては守備範囲でした。(獣医さん的にはハトは危険かもしれません、...)

いずれにしても、最初のレスキューが「平和の象徴」であるハトというのは、意味深いものを感じます。

さて、一縷(いちる)の望みをかけて、私と庭野が福島県南相馬市に向かいました。以下はそのレポートです。

2011年4月15日(金)

(11:00)

福島の鳩30羽のレスキュー依頼を受け、安否確認と一時預かりのため福島県南相馬市へ出発(「とり村」発)

支援物資(水、餌など)を積み込み
高速料金 関越道所沢～練馬まで ¥500
高速料金 外環道大泉まで ¥600

(13:55)

震災の影響で、常磐道いわき四倉インターまでで通行止めのため下道で南相馬市へ向かう事になりました。車内にて交代で昼食。国道6号で向かう途中、警察の検問を通過(この先避難区域なので立ち入り後、速やかに出るようにとの事)しかし、6号線は陥没や地割れがひどく先に進めませんでした。気づけば、福島第2原発の近くまで来ていたようです。迂回ルートを探して、引き返し警察に確認するものの説明された通りには迂回できませんでした。どうやら、警察もはっきりとルートを把握できていないようでした。

いろいろと、さまよう途中、タグをつけた牛に出逢いました。農場で飼われていたのでしょうか、牛はだいぶやせていたように思います。

高速料金 常磐道いわき四倉まで ¥5,500

(16:18)

現地の依頼者のいとこの方と連絡を取るも、迂回ルートはわからず、時間とガソリンの関係から、この日は福島市内に一泊する事にして、現地入りを断念。下道で福島駅周辺を目指す事にしました。

高速料金 いわき中央まで ¥550/PM9:00

福島駅周辺到着

ホテルに一泊する事にしました。しかし、駅周辺にはビジネスホテルが何軒ありましたがどこもいっぱいでした。

各地からのボランティアの方でいっぱいになっていたようです。車中泊を検討しながらも、なんとか、泊まれるホテルを見つけ、夕食、給油。

(PM21:51)

ガソリンレギュラー47、72L ¥7,253

ホテル駐車代 ¥630

ホテル(ツイン)宿泊代2名 ¥9,500



寸断された道路



道路を横切る牛

4月16日(土)

(5:45)

福島市を出発。下道で南相馬市の鳩の住所へ

(6:21)

車内で交代で朝食

現地近くのコンビニで周辺の地図を購入 ¥1,000

(7:30)

依頼先住所へ到着。現地のいところにあたる方と合流し、鳩の様子確認。一ヶ月近く放置されていた可能性があったため安否が心配でしたが、死亡していた鳩が3羽ほどで他は、元気そうで、卵を温めるような行動等微笑ましい鳩もいました。いところにあたる方が水を換えたりしてくれていたようです。今後の事も考え引き取り

を検討しましたが、元々の飼い主さんが手元に残したいという希望があり、今回は、引き取りをせず、支援物資として持っていった鳥愛やシード類をお渡ししました。そのまま、国道6号線を使い仙台市へ情報収集にむかう途中、津波の被害を物語る光景をたくさん目にしました。

(10:48)

仙台市役所災害相談窓口にて、情報交換。被災動物について、仙台市動物管理センターを紹介していただきむかいました。窓口の方には、チラシと名刺をお渡ししています。センターで、獣医師の方と情報交換。犬猫の依頼が主で鳥に関しては情報がありませんでした。チラシと名刺をわたして、愛玩動物協会福島支部の方に会いにいわき湯本へ出発。

東北有料道路 仙台北港まで ¥850

(15:41)

福島支部の事務所では、保護された犬や、もともと飼われているキエリボウシなどがいました。この地域ではつい最近まで断水が続いていたらしく温泉地という事もあり、わき水をくみにくる方もみられました。情報交換をして、支援物資をお渡ししています。多めに置いてきたので、もし被災で困っている方がいた場合には分けていただけるそうです。そのまま、高速道路で埼玉を目指す。

高速料金常磐道 いわき湯本まで ¥6,000

(17:25)

中郷サービスエリアにて給油44、50L ¥6,942

(PM19:00)

常磐道の降り口で高速料金精算(¥5,000) 震災関係の通行かと聞かれ、レスキューと答えたら係の方が通行料金を無料にしてくれました。

首都高料金 ¥700

(21:00)

とり村着

給油 15.47L ¥2,321



まとめ

4月15日～4月16日

- ・今回掛かった費用総額 : ¥42,356
- ・走行距離 1,101Km
- ・使用車 ハイエース/中型扱い(ロムテックより無料レンタル)
- ・スタッフ 松本壯志、庭野真吾 2名

レスキュー要請があつて出動しましたが、結局ハトの一時預かりはできませんでした。また、行った先で、何かできるだろう!? 何かしなくては!? と思いながら、結局何もできなかったのです。でも、行ったことでいろいろなことがわかりました。反省することが多いですが、また近いうちに現地に行く予定ですので、この反省を今後活かしていければと思っています。

3月19日から今回の震災のために支援金の呼びかけを開始いたしました。その支援金総額は、1,661,300円(4月15日現在)にのぼりました。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。皆さまからご協力いただきました支援金は、被災した動物たちのために大切に使用させていただきます。TSUBASAで保護する鳥がいなかった場合、被災した動物たちを保護してお世話をしている他団体を慎重に検討し、寄付させていただきます。これらの状況については、随時、ご報告をさせていただきます。

今回の支援活動は、皆様からいただいた支援金の中から使わせていただきました。このような活動資金がなければ行動に移せませんでした。皆様のご厚意に厚く御礼申し上げます。(とり村回覧板4号)